

# 事前伺い

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

豊橋技術科学大学 大学院工学研究科

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 豊橋技術科学大学  
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 副課長（学長ヲイ付） モリタ ヒトシ 森田一司

電話番号 0532-44-6537  
（夜間） 0532-44-6537  
F A X 0532-44-6509  
e-mail pof@office.tut.ac.jp

担当部局（課）名 教務課

職名・氏名 教務課長 マツモト テツオ 松本哲夫

電話番号 0532-44-6542  
（夜間） 0532-44-6542  
F A X 0532-44-6547  
e-mail kyoumu@office.tut.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、  
その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

## 目 次

1 調査対象大学等の概要等	1
2 授業科目の概要	13
3 既設大学等の状況	27
4 教員組織の状況	28
5 その他全般的事項	29

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 豊橋技術科学大学

## (2) 大学名

豊橋技術科学大学大学院

## (3) 大学の位置

〒441-8580  
愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

<工学研究科>

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 修士(工学)	年	人	人	基礎となる学部名等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員超過率	備考
		人	人	倍	
A 入学定員	( - ) 395	( )		1.05	事前伺い承認前に学生募集をし, 再編前の8専攻で入学試験を実施した。22.4には, 再編前の8専攻で合格し入学手続きをした学生を, 再編後の5専攻に振り分けた。
志願者数	( - ) 521	( )			
受験者数	( - ) 506	( )			
合格者数	( - ) 452	( )			
B 入学者数	( - ) 414	( )			
入学定員超過率 B/A	( - ) 1.05	( )			

- (注) ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成22年度	平成23年度	備考
1年次	[ ]	[ ]		
2年次	[ ]	[ ]		
計	[ ]	[ ]		

- (注) ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

<工学研究科 機械工学専攻(博士前期課程)>

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 機械工学専攻 (博士前期課程) 修士(工学)	2年	105人	210人	基礎となる学部名等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員超過率	備考
A 入学定員		( - )人	( )人	倍	事前伺い承認前に学生募集をし, 再編前の8専攻で入学試験を実施した。22.4には, 再編前の8専攻で合格し入学手続きをした学生を, 再編後の5専攻に振り分けた。
志願者数		( - )	( )		
受験者数		( - )	( )		
合格者数		( - )	( )		
B 入学者数		( - )	( )		
入学定員超過率 B/A		( - )	( )		

- (注) ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成22年度	平成23年度	備考
1年次		[ 7 ] 118	[ ]	
2年次		[ 0 ] 0	[ ]	
計		[ 7 ] 118	[ ]	

- (注) ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 7 ] 118	[ 0% ] 0 %
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 118人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ % ] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

<工学研究科 電気・電子工学専攻(博士前期課程)>

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 電気・電子情報工学専攻 (博士前期課程) 修士(工学)	2年	85人	170人	基礎となる学部名等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員超過率	備考
A 入学定員		( - )人	( )人	倍	事前伺い承認前に学生募集をし, 再編前の8専攻で入学試験を実施した。22.4には, 再編前の8専攻で合格し入学手続きをした学生を, 再編後の5専攻に振り分けた。
志願者数		( - )	( )		
受験者数		( - )	( )		
合格者数		( - )	( )		
B 入学者数		( - )	( )		
入学定員超過率 B/A		( - )	( )		

- (注) ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成22年度	平成23年度	備考
1年次		[ 4 ] 77	[ ]	
2年次		[ 0 ] 0	[ ]	
計		[ 4 ] 77	[ ]	

- (注) ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 4 ] 77	[ 0% ] 0 %
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 77人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ % ] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他



(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

<工学研究科 情報・知能工学専攻(博士前期課程)>

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 情報・知能工学専攻 (博士前期課程) 修士(工学)	2年	85人	170人	基礎となる学部名等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員超過率	備考
A	入学定員	( - )人	( )人	倍	事前伺い承認前に学生募集をし, 再編前の8専攻で入学試験を実施した。22.4には, 再編前の8専攻で合格し入学手続きをした学生を, 再編後の5専攻に振り分けた。
	志願者数	( - )	( )		
	受験者数	( - )	( )		
	合格者数	( - )	( )		
B	入学者数	( - )	( )		
	入学定員超過率 B/A	( - )	( )		

- (注) ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成22年度	平成23年度	備考
1年次		[ 3 ] 99	[ ]	
2年次		[ 0 ] 0	[ ]	
計		[ 3 ] 99	[ ]	

- (注) ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 3 ] 99	[ 0% ] 0 %
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 99人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ % ] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

<工学研究科 環境・生命工学専攻(博士前期課程)>

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 環境・生命工学専攻 (博士前期課程) 修士(工学)	2年	65人	130人	基礎となる学部名等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員超過率	備考
A 入学定員		( - )人	( )人	倍	事前伺い承認前に学生募集をし, 再編前の8専攻で入学試験を実施した。22.4には, 再編前の8専攻で合格し入学手続きをした学生を, 再編後の5専攻に振り分けた。
志願者数		( - )	( )		
受験者数		( - )	( )		
合格者数		( - )	( )		
B 入学者数		( - )	( )		
入学定員超過率 B/A		( - )	( )		

- (注) ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成22年度	平成23年度	備考
1年次		[ 2 ] 72	[ ]	
2年次		[ 0 ] 0	[ ]	
計		[ 2 ] 72	[ ]	

- (注) ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 2 ] 72	[ 0% ] 0 %
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 72人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ % ] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

<工学研究科 建築・都市システム学専攻(博士前期課程)>

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 建築・都市システム学専攻 (博士前期課程) 修士(工学)	2年	55人	110人	基礎となる学部名等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員超過率	備考
A	入学定員	( - )人	( )人	倍	事前伺い承認前に学生募集をし, 再編前の8専攻で入学試験を実施した。22.4には, 再編前の8専攻で合格し入学手続きをした学生を, 再編後の5専攻に振り分けた。
	志願者数	( - )	( )		
	受験者数	( - )	( )		
	合格者数	( - )	( )		
B	入学者数	( - )	( )		
	入学定員超過率 B/A	( - )	( )		

- (注) ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成22年度	平成23年度	備考
1年次		[ 7 ] 48	[ ]	
2年次		[ 0 ] 0	[ ]	
計		[ 7 ] 48	[ ]	

- (注) ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 7 ] 48	[ 0% ] 0 %
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 48人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ % ] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<大学院工学研究科 共通科目>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
自然	生命科学特論	1前	1	4		3	2	1	1			教育的配慮により区分変更(22.4)	
	環境科学特論	1前	1	4		5	2						教育的配慮により区分変更(22.4)
	小計(2科目)	—	2	0	0	7	3		1	0	0		
社会工学計画	経済システム分析学	1・2前		2		1						共通科目充実のため、科目追加(22.4)	
	管理科学	1・2後		2		2							
	生産管理論	1・2前		2		1							
	研究開発と知的財産権	1・2後		2									
	環境経済分析論	1・2後		2		1							
	計量経済論	1・2後		2		1	1						
	環境計画論	1・2後		2			1						
	産業政策論	1・2前		2			1						
8 小計(4科目)	—	0	16	0	3	2	0	0	0	0			
共通科目	技術者倫理特論Ⅰ	1・2後		1		1						授業内容を充実させるため、科目を分割(22.4)	
	技術者倫理特論Ⅱ	1・2後		1			1						
	技術者倫理特論	1・2後		4		4	4						
	哲学	1・2前		2		1							
	音声学	1・2前		2		1							
	言語と思想	1・2後		2		1							
	言語と文化Ⅰ	1・2前		2		1	4				1		教員の昇任のため(22.4)
	言語と文化Ⅱ	1・2前		2									
	言語と文化Ⅲ	1・2後		2		1	4						教員の昇任のため(22.4)
	言語と文化Ⅳ	1・2後		2						1			
	日本文化論	1・2前		2			1						
	英米文化論Ⅰ	1・2前		2		4				1			人事上の都合のため(22.4)
	英米文化論Ⅱ	1・2前		2			1						
	英米文化論Ⅲ	1・2後		2		4				1			人事上の都合のため(22.4)
	英米文化論Ⅳ	1・2後		2			1						
	西欧文化論	1・2後		2			1						
	異文化コミュニケーションⅠ	1・2前		2			1						
	異文化コミュニケーションⅡ	1・2後		2			1						
	言語と社会Ⅰ	1・2前		2			1						
	言語と社会Ⅱ	1・2後		2			1						
	言語と障害	1・2後		2			1						
	運動生化学	1・2前		2				1					
	運動生理学	1・2後		2			1						
	体育科学	1・2前			1	1	1						
日本事情	1・2前		2			1							
24 小計(23科目)	—	0	44	1	6	7	2	4	0	0			
特別科目	実践的マネジメント特論	1・2後			2								
	海外インターンシップ	1・2休			2								
	小計(2科目)	—	0	0	4								
	36 合計(34科目)	—	2	60	5	16	12	3	0	0			
			0	53		14	10	2					

## 2 授業科目の概要

<大学院工学研究科 機械工学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	別紙(博士前期課程 共通科目)のとおり												
	36 小計 ( <del>34</del> 科目)	—	2 0	60 53	5	16 14	12 10	3 2	13 0	11 0			
専攻科目	必修科目	機械工学輪講Ⅰ	1通	4			16 15	11 13	3 4	13 11		人事異動(昇任, 採用, 退職)のため	
		機械工学輪講Ⅱ	2通	2			16 15	11 13	3 4	13 11			
		機械工学特別研究	1~2	6			16 15	11 13	3 4				
		小計(3科目)	—	12	0	0	16 15	11 13	3 4	13 11	0		
	選択科目	技術英作文	1前後		1							教育的配慮のため科目分割(22.4)	
		コミュニケーション英語	1前後		1								
		機械工学技術英語	1通		2								
		機械工学大学院特別講義Ⅰ	1通		1								
		機械工学大学院特別講義Ⅱ	1通		1								
	小計(3科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0		
	専攻科目 コース選択科目(選択必修科目)	機械・システム	振動・衝突工学特論	1・2後		2		1	1				教員の昇任のため(22.4)
			高速破壊力学	1・2前		2		1	1				
			加工計算力学	1・2前		2		1		1			
			マイクロマシニング特論	1・2後		2		1					
			機械・システムデザイン特論	1・2後		2		1	1				
バイオメカニクス特論			1・2前		2		1						
小計(6科目)		—	0	12	0	5	2	1	0	0	0		
材料・生産加工コース		機械表面工学	1・2後		2		1	1	1			教員の昇任のため(22.4)	
		生産加工学特論	1・2後		2		1	1					
		材料プロセス工学	1・2後		2		1		1				
	加工計算力学	1・2前		2		1		1					
	高速破壊力学	1・2前		2		1	1						
	材料保証学	1・2前		2		1		1					
	材料機能制御工学	1・2前		2		1	1						
小計(7科目)	—	0	14	0	7 6	3	3	0	0	0			
ロボット制御コース	ロボット工学特論	1・2後		2			1				ロボットセンター設立にあわせ、より実践的な科目を充実させるため、教育上の配慮により科目追加(22.4)		
	システム制御特論	1・2前		2			1						
	最適化学特論	1・2前		2			1						
	安全信頼性工学特論	1・2後		2			1						
	飛行ロボティクス特論	1・2後		2			1						
	信号処理・故障診断特論	1・2後		2			1						
ビジョン・計測特論	1・2前		2				1						
小計(6科目)	—	0	14 12	0	4 3	4	0	0	0	0			
環境・エネルギーコース	応用流体工学	2前 1~2		2			1				教員の人事交流により、配当年次を変更(22.4)		
	乱流工学	1・2前		2		1	1						
	混相流の工学	1・2後		2			2						
	応用熱工学	1・2前		2		1							
	応用燃焼学	1・2後		2		1							
	環境・エネルギー学特論	2後 1~2		2			1	1					
小計(6科目)	—	0	12	0	3	5	1	0	0	0			
67 合計 ( <del>60</del> 科目)		—	14 12	112 103	5	32 30	23	6	13 11	0			



(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	54	3	60	5 [ 2 ]	59 [ 5 ]	3 [ 0 ]	67 [ 7 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	応用流体力学	2	1・2	専門	選択	担当予定教員が人事交流で1年間不在のため, 配当年次を変更して開講, 有
2	環境・エネルギー学特論	2	1・2	専門	選択	担当予定教員が退職したため, 配当年次を変更して開講, 有

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。  
 なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	技術者倫理特論	1	1・2	一般	選択	機械系と環境系に科目を分割し, 従業内容を充実させた, 有
2	機械工学技術英語	2	1	専門	選択	論文執筆能力, 研究内容の口頭発表能力を高めるため, 英作文とコミュニケーションを2つの講義に分けることにより, より実践的で内容が深く, 学生に目的意識を持たせることができるようにした。また少人数教育を実施するためクラスを2つに分けるためにも科目を分割した。

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目についてはいずれも少人数教育とするために授業科目を分割するとともに学習内容の拡充を図っており, 学生への教育的な配慮を十分に考慮したものとなっている。  
 また, 学生へは, 入学時からオリエンテーションを通じて廃止後のカリキュラムを周知している。

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.07$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<大学院工学研究科 電気・電子情報工学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	別紙(博士前期課程 共通科目)のとおり											
	36 小計 ( <del>31</del> 科目)	—	2 0	60 53	5	16 14	12 10	3 2	0	0		
専攻科目	必修科目	数理	1前	1.5			3	2	1			教員の昇任のため(22.4) 人事異動(昇任, 退職)のため(22.4)
		電気・電子情報工学輪講 I	1通	3			11	12	0			
		電気・電子情報工学特別研究	1~2	6			11	12	2			
		小計(3科目)	—	10.5	0	0	11	13	2	0	0	
	選択必修科目	物理論	1前		1.5		3	1				
		回路論	1前		1.5		1	2				
		物質化学論	1前		1.5		1	2				
	小計(3科目)	—	0	4.5	0	5	5	0	0	0		
	選択科目	電気・電子情報工学特別講義	1通		1							
		技術科学英語	1前		1							
	小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0		
	ニクスコース	材料エレクトロニクス論	1・2後		2		1	1				
		固体電子材料論	1・2後		2		1	1				
		電気化学材料学	1・2前		2		1	1				
		界面材料分析学	1・2後		2			1				
		光機能材料学	1・2前		2		1					
	小計(5科目)	—	0	10	0	4 3	4	0	0	0		
	システムコース	機能電気システム論	1・2後		2		1	1				人事上の都合のため(22.4) 教員の昇任のため(22.4) 人事選考の都合により, 配当年次を変更(22.4)
エネルギー変換学		1・2後		2		1	1					
エネルギートランスファー工学		1・2後		2		1	1	1				
エネルギーネットワーク工学		2前 1・2		2		1						
電気応用工学	1・2前		2		1	1						
小計(5科目)	—	0	10	0	5 3	3 2	0 1	0	0			
システムコース	集積電子システム論	1・2前		2		1	1				教員の退職により, 配当年次を変更(22.4) 教員の退職のため(22.4) 人事選考の都合により, 配当年次を変更(22.4)	
	電子デバイス論	1・2後		2		1	1					
	光・量子電子工学	2前 1・2		2		1	1					
	マイクロ・ナノシステム	1・2後		2		1	1	0				
	センシングシステム	2後 1・2		2		1						
小計(5科目)	—	0	10	0	5 4	2 3	0 1	0	0			
システムコース	情報通信システム論	2後 1・2		2		1					人事選考の都合により, 配当年次を変更(22.4)	
	無線ネットワーク論	1・2後		2			1					
	信号処理回路設計論	1・2後		2			1					
	計測制御システム論	1・2前		2			1					
	マイクロ波回路工学	1・2前		2		1						
小計(5科目)	—	0	10	0	2	3	0	0	0			
64 合計 ( <del>59</del> 科目)		—	12.5 10.5	106.5 99.5	5	31 26	25 25	3 4	0	0		

### (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	53	3	59	5	56	3	64	
				[ 2 ]	[ 3 ]	[ ]	[ 5 ]	

(注) ・未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [ ] 内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	エネルギーネットワーク工学	2	1・2	専門	選択	人事選考の都合により，配当年次を変更して開講，有
2	光・量子電子工学	2	1・2	専門	選択	教員の退職により，配当年次を変更して開講，有
3	センシングシステム	2	1・2	専門	選択	人事選考の都合により，配当年次を変更して開講，有
4	情報通信システム論	2	1・2	専門	選択	人事選考の都合により，配当年次を変更して開講，有

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。  
 なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	技術者倫理特論	1	1・2	一般	選択	機械系と環境系に科目分割し，従業内容を充実させた，有

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生へは，入学時からオリエンテーションを通じて廃止後のカリキュラムを周知している。

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.08}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<大学院工学研究科 情報・知能工学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	別紙(博士前期課程 共通科目)のとおり											
	36 小計 ( <del>31</del> 科目)	—	20	60	5	16	12	3	0	0		
専攻科目	必修科目	情報・知能工学論講 I	1通	4			15	10	4	10		人事異動(昇任, 採用, 退職等)のため
		情報・知能工学論講 II	2通	2			15	10	4	10		
		情報・知能工学特別研究	1~2	6			15	10	4	5		
		小計(3科目)	—	12	0	0	15	10	4	10	0	
	選択科目	情報・知能工学大学院特別講義 I	1通		1							人事選考の都合により, 非常勤講師が担当(22.4)
		情報・知能工学大学院特別講義 II	1通		1							
		技術英語プレゼンテーション	1・2前		2			0	10			人事異動のため
		システムデザインプロジェクト	1・2前		2		15	1	4	10		
		音声言語処理特論	1前		2		1	1				情報工学コースへ区分変更及び時間割の都合上学期変更(22.4)
		ネットワーク工学特論	1前		2		1					
		ロボット情報学特論	1前		2		2					両コースの選択必修科目へ区分変更(選択重要度の明確化)(22.4)
		データマイニング・可視化特論	1前		2		2					
		応用情報システム特論	1後		2				1			「シミュレーション教育」重視のため科目追加(22.4)
		情報教育学特論	1後		2			1				
		マルチモーダル情報処理特論	1後		2		1					
		シミュレーション特論	1前		2			1				
		画像工学特論	1後		2			2	0			教員の昇任のため(22.4)
								1	1			
		小計(12科目)	—	0	20	0	15	10	4	10	0	
コース選択科目(選択必修科目)	情報工学コース	ロボット情報学特論	1・2前		2		2					選択科目から区分変更(選択重要度の明確化)(22.4)
		高性能計算機特論	1前		2			1				選択科目から区分変更及び時間割の都合上学期変更(22.4)
		ネットワーク工学特論	1後		2		1					
		ソフトウェア工学特論	1前		2		1					
		情報通信システム特論	1後		2			1				
		アルゴリズム工学特論	1後		2		2					
		ユビキタス・分散処理特論	1後		2				1			講師の採用のため(22.4)
	計算機システム特論	1後		2			1	1			教員の昇任のため(22.4)	
小計(6科目)	—	0	16	0	6	3	2	0	0			
知能情報システムコース	ロボット情報学特論	1・2前		2		2					選択科目から区分変更(選択重要度の明確化)(22.4)	
	量子・生命情報学特論	1前		2		1	1					
	ソフトウェア工学特論	1前		2		1						
	システム・知能科学特論	1後		2		1	1					
	分子情報学特論	1後		2		1						
	生体情報システム特論	1後		2		1	1					
	生命情報・認知科学特論	1後		2		1	1					
小計(6科目)	—	0	14	0	8	4	0	0	0			
合計(57科目)	—	14	106	5	31	23	7	10	0			

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 51	科目 3	科目 57	科目 5 [ 2 ]	科目 55 [ 4 ]	科目 3 [ 0 ]	科目 63 [ 6 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。  
 なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	技術者倫理特論	1	1・2	一般	選択	機械系と環境系に科目分割し，従業内容を充実させた，有

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生へは，入学時にオリエンテーションを通じて廃止後のカリキュラムを周知している。

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<大学院工学研究科 環境・生命工学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	別紙(博士前期課程 共通科目)のとおり											
	36 小計 ( <del>31</del> 科目)	—	2 0	60 53	5	16 14	12 10	3 2	0	0		
必修科目	環境・生命工学輪講Ⅰ	1通	3			13 11	11 14	1			人事異動(昇任, 採用, 退職等)のため	
	環境・生命工学輪講Ⅱ	2通	3			11 13	14 11	1				
	環境・生命工学特別研究	1~2	6			11 13	11 14	1				
	小計(3科目)	—	12	0	0	13 11	14 14	1	0	0		
専攻科目	環境保全工学特論	2後		2		1					集中科目を毎週科目に変更(22.4)	
	環境数理工学特論	2前		2		1						
	環境システム工学特論	2前		2			1					
	環境センサ工学特論	1前		2		1						
	環境触媒工学特論	1後		2		1						
	環境反応工学特論	2後		2			1					
	超臨界流体工学特論	2前		2			1					
	分子生命科学特論Ⅱ	2前		2			1					
	応用生物学特論Ⅱ	2後		2		1						
	環境・生命工学大学院特別講義Ⅰ	1通		1								
	環境・生命工学大学院特別講義Ⅱ	1通		1								
	有機材料工学特論	2前		2			1					
	環境電気工学特論	1後		2		1	1					
	環境物性工学特論	1前		2			1					
	公害防止管理特論	1前 1通		1			1					
持続社会コーディネーター特論	1前		2			1						
環境・技術コミュニケーション特論	1後		2			1						
食農技術科学特論	1前		2			1						
小計(18科目)	—	0	33	0	6	8	0	0	0			
選択科目Ⅱ	分子生命科学特論Ⅰ	1前		2		1					教員の昇任のため(22.4) 教員の昇任のため(22.4)	
	応用生物学特論Ⅰ	1前		2		1						
	分離定量分析化学特論Ⅰ	1前		2			1					
	分離定量分析化学特論Ⅱ	1後		2			1					
	物理化学特論Ⅰ	1後		2		1	1					
	物理化学特論Ⅱ	2前		2		1	1					
	高分子有機化学特論	2前		2		1						
	複合材料工学特論	1前		2		1						
	応用有機化学特論	1後		2			1					
	発生神経科学特論	1前		2				1				
環境保全材料工学特論	1前		2		1							
小計(11科目)	—	0	22	0	7 5	3 5	1	0	0			
68 合計 ( <del>63</del> 科目)	—	14 12	115 108	5	25 22	23 22	3 2	0	0			

### (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	57	3	63	5	60	3	68	
				[ 2 ]	[ 3 ]	[ ]	[ 5 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。  
 なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	技術者倫理特論	1	1・2	一般	選択	機械系と環境系に科目分割し, 従業内容を充実させた, 有

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生へは, 入学時からオリエンテーションを通じて廃止後のカリキュラムを周知している。

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<大学院工学研究科 建築・都市システム学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	別紙(博士前期課程 共通科目)のとおり											
	36 小計(31科目)	—	2 0	60 53	5	16 14	12 10	3 2	0	0		
専攻科目	必修科目	建設倫理と法体系	1・2前	2			9 0					常勤教授が担当(22.4)
		建築・都市システム学輪講Ⅰ	1通	2			12 11	7	0 1	6 5		人事異動(昇任, 採用, 退職等)のため
		建築・都市システム学輪講Ⅱ	2通	2			12 11	7	0 1	6 5		
		建築・都市システム学特別研究	1~2	6			12 11	7	0 1			
		小計(4科目)	—	12	0	0	12 11	7	0 1	6 5	0	
	コース共通	構造解析論	1・2前		2			1				
		連続体解析論	1・2前		2			1				
		耐震構造設計論	1・2前		2				1			
		鉄骨系構造設計論	1・2後		2							
		コンクリート系構造設計論	1・2後		2				1			
		都市地域プランニング	1・2前		2				1			
		リスクマネジメント論	1・2前		2				1			
		インターンシップ	1・2前後		4	4						
小計(8科目)	—	0	14 18	4 0	4	2	0	0	0			
専攻科目	コース選択科目(選択必修科目)	建築デザイン論	1・2前		2		1	1				教員の昇任のため(22.4)
		建築デザインⅠ	1・2前		2		1	1				教員の昇任のため(22.4)
		建築デザインⅡ	1・2後		2			1				
		地区プランニング	1・2後		2			1				
		建築設備デザイン	1・2後		2			1	1			教員の退職, 採用のため(22.4)
		建築環境デザイン	1・2後		2			1				
		建築設備設計演習Ⅰ	1・2前		1		1	1	1			教員の退職, 採用のため(22.4)
		建築設備設計演習Ⅱ	1・2後		1		1	1	1			教員の退職, 採用のため(22.4)
		建築修復保存論	1・2前		2			1				
		表象分析論	1・2前		2			1				
		都市空間論	1・2後		2			1				
		歴史と文化論	1・2後		2			1				
		文学特論	1・2後		2			1				
小計(13科目)	—	0	24	0	4	5 6	0 1	0	0			
専攻科目	社会基盤コース	地盤解析論	1・2後		2		1					
		水圏環境システム論	1・2前		2		1					
		水圏防災システム論	1・2後		2			1				
		環境数理工学特論	2前 1・2		2		1					配当年次の変更(22.4)
		環境保全工学特論	2後 1・2		2		1					配当年次の変更(22.4)
		交通システム論	1・2前		2		1					
		社会基盤マネジメント論	1・2前		2		1					
		環境経済分析論	1・2後		2		1					
		計量経済論	1・2後		2		1	1				
		環境計画論	1・2後		2		1	1				
		産業政策論	1・2前		2		1	1				
小計(11科目)	—	0	22	0	8	3	0	0	0			
72 合計(67科目)		—	14 12	120 117	9 5	24 28	19 21	3	6 5	0		

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 60	科目 3	科目 67	科目 6 [ 2 ]	科目 62 [ 2 ]	科目 4 [ 1 ]	科目 72 [ 5 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	環境数理工学特論	2	1・2	専門	選択	他専攻(環境・生命工学専攻)の開講年次変更にもなう変更ミス, 有
2	環境保全工学特論	2	1・2	専門	選択	他専攻(環境・生命工学専攻)の開講年次変更にもなう変更ミス, 有

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。

なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	技術者倫理特論	1	1・2	一般	選択	機械系と環境系に科目分割し, 従業内容を充実させた, 有

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生へは, 入学時からオリエンテーションを通じて廃止後のカリキュラムを周知している。

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.04}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	豊橋技術科学大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
工学部									
機械システム工学課程	4	—	—	—		—	S51年度	愛知県豊橋市天 伯町雲雀ヶ丘1 -1	H22から第1年 次学生募集停止
生産システム工学課程	4	—	—	—		—	S51年度		H22から第1年 次学生募集停止
電気・電子工学課程	4	—	—	—		—	S51年度		H22から第1年 次学生募集停止
情報工学課程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	S51年度		H22から第1年 次学生募集停止
物質工学課程	4	—	—	—		—	S51年度		H22から第1年 次学生募集停止
建設工学課程	4	—	—	—		—	S51年度		H22から第1年 次学生募集停止
知識情報工学課程	4	—	—	—		—	S63年度		H22から第1年 次学生募集停止
エコロジー工学課程	4	—	—	—		—	H5年度		H22から第1年 次学生募集停止

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<工学研究科 機械工学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
31	12	43	2	29	13	42	1	
(29)	(13)	(42)	(1)	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	

<工学研究科 電気・電子情報工学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
24	11	35	2	22	9	31	1	
(22)	(9)	(31)	(1)	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	

<工学研究科 情報・知能工学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
28	12	40	1	29	10	39	1	
(29)	(10)	(39)	(1)	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	

<工学研究科 環境・生命工学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
26	9	35	4	24	7	31	4	
(24)	(7)	(31)	(4)	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	

<工学研究科 建築・都市システム学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
18	8	26	1	20	6	26	1	
(20)	(6)	(26)	(1)	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
(記入例：1名減の場合：△1)

## 5 その他全般的事項

<工学研究科>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表予定時期 ( 22年 5月 28日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.tut.ac.jp/about/information.html>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。